

レブンアツモリソウ 報告会



礼文島にだけ生育し、「ランの女王」とも呼ばれるレブンアツモリソウ。その魅力や保護の必要性、現在行われている最先端の研究や保護活動についてご紹介し、花の浮島と呼ばれる礼文島の魅力をお伝えします。



日時:平成26年3月9日(日) 15:30~18:00

場所:かでる2.7 札幌市中央区北2条西7丁目

参加費
無料

- レブンアツモリソウ保護増殖事業について
- レブンアツモリソウの個体群動態と将来予測
- レブンアツモリソウの植物生態共生系について
- レブンアツモリソウの送粉共生系について
- レブンアツモリソウの共生システムの解明について
- 共生システムを利用した自生地の復元について
- 協働によるレブンアツモリソウ保全活動の課題について
- 共生菌培養株を用いた自生地復元シミュレーションについて

中島信人(稚内自然保護官事務所)
河原孝行(森林総合研究所四国支所)
高橋英樹(北海道大学総合博物館)
杉浦直人(熊本大学大学院)
志村華子(北海道大学大学院)
幸田泰則(北海道大学)
八巻一成(森林総合研究所北海道支所)
村山誠治(礼文町高山植物培養センター)